

# シニア海外ボランティア 平成22年度秋 分野別要請集

平成22年10月

No.2

農林水産



独立行政法人国際協力機構

青年海外協力隊事務局

J/333.9  
SE  
22-2

15318



## 平成22年度SV秋募集 分野別要請一覧

## 3. 農林水産

要請番号	指導科目	国名	頁
農林水産(30件)			
SL32410D05	育種(大豆)	パラグアイ	1
SL32410D07	大豆育種	パラグアイ	2
SL30310D07	花き資源の育種	アルゼンチン	3
SL30310D08	花き栽培	アルゼンチン	4
SL33310D03	花き栽培	ウルグアイ	5
SL06010D07	野菜栽培	ネパール	6
SL44510D01	野菜栽培	トルコ	7
SL54510D01	農業技術・管理運営指導	ウガンダ	8
SL44510D02	フルーツ栽培	トルコ	9
SL23910D01	組織培養	ホンジュラス	10
SL32410D08	病害防除	パラグアイ	11
SL32410D06	土壌分析	パラグアイ	12
SL06010D04	協同組合研修	ネパール	13
SL06010D05	協同組合研修・活動促進	ネパール	14
SL32410D04	生活改善	パラグアイ	15
SL44510D03	生活改善	トルコ	16
SL10610D09	農学教育指導	フィジー	17
SL30310D02	農業用水利用(ため池)	アルゼンチン	18
SL06610D01	農業機械	スリランカ	19
SL30310D06	農業機械試験・規格化	アルゼンチン	20
SL44510D04	地場産品加工	トルコ	21
SL16610D01	家畜飼育	パラオ	22
SL25110D01	受精卵移植	パナマ	23
SL04510D08	家畜用ワクチン生産	モンゴル	24
SL31210D02	ペンギン人工孵化	チリ	25
SL33310D02	林業	ウルグアイ	26
SL25110D02	森林資源活用	パナマ	27
SL10610D08	エビ養殖	フィジー	28
SL63010D05	船舶機関保守管理	モザンビーク	29
SL10610D13	水産物加工	フィジー	30

この要請集は平成22年8月末までの各国からの要請をとりまとめたものです。  
ただし、受入国の事情により、募集から選考までの期間内に、要請の変更・取消が行われることもあります。これらの変更・取消要請に関する情報については、JICA ホームページをご覧ください。  
また、10月中旬に同ホームページ上で追加要請が公開となる予定です。  
そちらもあわせてご確認ください。

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 10 日

要請番号( SL 324 - 10 - D - 05 )

調査者名:澤田 和宏

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パラグアイ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001 )	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 育種(大豆)			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			2	23 / 2	
指導科目(英) Breeding	3	/				
プログラム番号・名 324000000010 小農自立化支援		プロジェクト名				

1) 受入省庁名(日本語) 農牧省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Stock Raising

2) 配属先名 (日本語) 地域農業研究センター  
 (英語) Regional Agricultural Investigation Center

3) 任地 イタプア県カピタン・ミランダ市  
 首都( アスンシオン )から 南東 方向 450 Km  
 主要都市( エンカルナシオン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 1980年前半のJICA南部パラグアイ農林業開発計画で開設された地域農業研究センターでは、1990年から主要穀物生産強化プロジェクト(～1997年)を実施し、大豆・小麦に関する育種、栽培、土壌の研究体制及び種子生産体制の強化に協力してきた。さらに2006年から2008年2月まで、大豆さび病抵抗性品種の育成プロジェクトが実施された。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 1990年から地域農業研究センターでは、JICA技術協力プロジェクト「主要穀物生産強化プロジェクト」を経て、大豆・小麦に関する育種、栽培、土壌肥料の分野で技術支援が行われてきており、パラグアイ農業生産に大きな成果を残すに至った。現在SVが活動を継続しているものの、2年間という任期は育種という職種の性格からすると非常に短いものであり、現SVの活動期間だけでは更なる成果に結びつける事は困難であることから、引き続き支援を必要としている。

2) 期待される具体的業務内容  
 期待される具体的業務内容  
 1. 育種素材の収集評価  
 2. 主要病害虫抵抗性育種研究の継続(大豆シストセンチュウ、墨腐れ病など)  
 3. 大豆育種事業全般の継続

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 パソコン、複写機、PHメーター、乾熱滅菌器、電気泳動装置、トランスイルミネーター、クリーンベンチ、超低温フリーザー、電子天秤、その他ガラス器具一式

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 カウンターパート: 育種課長、男性、大卒(農学)、40歳半  
 スタッフ: 大卒(農学)2名

5) 業務使用言語  
 ● スペイン語 ( )  
 ○ その他 ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: B)  
 (レベル: )

条件(資格、免許、性別)及びその理由

資格条件

- 学歴 大卒 農学
- 大豆育種経験10年以上

性別理由:  
 学歴理由: 同僚も同等以上の学歴である  
 経験理由: 同僚も同等以上の経験を有するため  
 理由: 大豆に係る深い専門性が求められる  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(亜熱帯 ) 気温( 0~40℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 10 日

要請番号( SL 324 - 10 - D - 07 )

調査者名:長谷川 辰雄

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パラグアイ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001 ) 指導科目 大豆育種	●新規 ○交替 1 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英) Improvement Genetics soybean			1	23 / 1	年 月 日から
				2	23 / 2	
	3	/				

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名 小農自立化支援

1) 受入省庁名(日本語) NGO 日系セタパル財団  
 (受入機関名)(英語) NGO Foundation of Nikkei Cetapar

2) 配属先名 (日本語) NGO 日系セタパル財団  
 (英語) NGO Foundation of Nikkei Cetapar

3) 任地 アルトパラナ県イグアス市  
 首都( アスンシオン )から 東 方向 280 Km  
 主要都市( アスンシオン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 4 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 1962年にパラグアイ各地に入植した日本人移住者の営農の安定と振興を図るために開設されたJICA直営の試験農場は、その後統合され現在のCETAPARとなり、日系人農家に限らず地域農家を対象とした技術支援活動を展開してきた。2000年からは地域農業振興を目標に掲げ、技術協力プロジェクトが実施されており、2010年4月にJICAから日系農協中央会へと移管される予定である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 パラグアイの基幹産業である農業において、主な生産物である大豆は輸出向けに生産されており、パラグアイは世界第4位の大豆輸出国である。近年、特に食用大豆(非遺伝子組換え大豆)の需要は増大しており、日系農業協同組合は日本から多数の引き合いを受けている。これに対し、日系農業協同組合は、市場のニーズに合致した大豆を安定供給し、輸出事業を更に発展させたいと考えている。現在、CETAPARでは、食用大豆ならびに遺伝子組換え大豆の育種を取組んでおり、さらなる品質や収量の向上を目的として、ボランティアの要請につながった。

2) 期待される具体的業務内容  
 実施中の育種業務に基づいて、下記の事項をスタッフとともに取組みながら技術指導を行う。  
 1. 栽培適性、品質、多収性、耐病性を重視した育種材料の調査・選定  
 2. 交配計画  
 3. 選抜方法(調査方法含む)  
 4. 効率的な世代促進方法

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 試験播種機、乾燥機、種子保管用保冷库・フリーザー、水分測定器、種子カウンター等。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 大豆育種の担当スタッフ(男性2名-30歳代)、大学農学部卒、うち1名本邦技術研修(土壌分析)経験有り。他に補助員2名。

5) 業務使用言語  
 ● スペイン語  
 ( )  
 ○ ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: C)  
 (レベル: )

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 ・経験 実務経験 10年以上  
 性別理由:  
 学歴理由:  
 経験理由:  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(亜熱帯) 気温( 0~40℃位) 電気安定 不安定 なし  
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 8 日

要請番号( SL 303 - 10- D- 07 )

調査者名: 山本 パトリシア

国名	職種 / 指導科目 (コード 1002 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 花き栽培	● 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目 花き資源の育種			2	23 / 2
	職種(英) Flower Growing 指導科目(英) Breeding of Ornamental Resources			3	/
				年 月 日	から

プログラム番号・名 3030000000008 プロジェクト名  
その他(自然資源保護)

1) 受入省庁名(日本語) 国立農牧技術院(INTA)  
(受入機関名)(英語) National Institute of Agricultural Technology (INTA)

2) 配属先名 (日本語) 花き研究所  
(英語) Floriculture Institute

3) 任地 ブエノスアイレス州カステラル市  
首都( )から 北西 方向 30 Km  
主要都市( ブエノスアイレス市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
天然資源と環境を保全しながら地域の産業開発に関する農牧業の研究開発・人材育成活動と共に、生産者への普及業務を実施している。花き研究所ではこれまで花き栽培の研究と普及活動に加えて1999年より在来観賞植物の育種を開始し、伝統的な育種とハイブリッドを用いた育種を行っており、幾つかの花き品種を国内で登記した。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
本研究所は1977年に花き農家への技術支援を目的として設立したJICA直営試験場を2004年に国立農牧技術院に移管した施設である。  
本研究所ではJICAの技術支援の基で在来花き素材の探索・収集・評価及び育種の技術支援を行い、現在は亜国政府の研究機関として本分野における研究と普及を独自で実施している。しかし、花き産業の持続的な発展を図るためには、高塩・干ばつなどの環境ストレスに優れた品種の育成技術に欠けており、本環境ストレスの耐性を含む新たな品種を創出することを目的とした人材育成が不可欠であることから本SVの要請が提出あった。

2) 期待される具体的業務内容

- 耐乾性・耐塩性を有する花き品種の育種に関する研究計画の立案
- 実験の設計に関連する技術指導
- セミナー、研修・ワークショップなどの開催
- 新たな研究プロジェクトの立案への助言

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
温室 (21棟)、培養土の実験室、成長点培養用実験室、分子培養実験室、顕微鏡室等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 花き研究所のスタッフは39名のうち、17名が技術者。本分野に関係するスタッフは30~40代の男女5名	5) 業務使用言語 ◎ スペイン語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ スペイン語 (レベル: C)
--	--------------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

資格条件	性別理由:
・学歴 博士 農学	学歴理由:
・経験 実務経験 15年以上	経験理由:
・花き育種経験	理由:
・耐乾・耐塩性育種研究	理由:

活動用交通手段の必要性

○有 ◎無 ○車輜 ○単車 ○自転車	研修等	形態	現職教員特別参加制度
--------------------	-----	----	------------

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(温帯 ) 気温( 5 ~ 30 °C位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 1 月 4 日

要請番号( SL 303 - 10 - D - 08 )

調査者名: 山本 パトリシア

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 花き栽培 (コード 1002 ) 指導科目 花き栽培	● 新規	◎ 2 年	1	23 / 1
	職種(英) Flower Growing 指導科目(英) Cultivation of ornamental flowers	○ 交替 代目	○ 1 年 ○ ヶ月	2	23 / 2
				3	/

プログラム番号・名 3030000000001 プロジェクト名  
その他(中小企業・地域経済活性化)

1) 受入省庁名(日本語) コリエンテス州生産、労働観光省  
(受入機関名)(英語) Ministry of Production, Labour and Tourism, Province of Corrientes

2) 配属先名 (日本語) コリエンテス州生産技術センター  
(英語) Center of Production Technologies (CETEPRO)

3) 任地 コリエンテス州コリエンテス市  
首都( フェノスアイレス )から 北 方向 . 931 Km  
主要都市( フェノスアイレス )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 1.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
州内の農業生産者の生産性と生活水準向上を期待し、農産物生産技術の開発、研究及び普及を実施、また土壌分析、病害虫診断及び生産者、技術者及び学生を対象にした研修も実施している。我国の協力としては、過去に、ミニプロ1990-1993年(野菜栽培技術)、土壌、野菜栽培、病虫害の個別専門家及び「野菜種子生産」のSVの派遣(2003-2006年) (2007年度予算額65000トドル/2273千円)実績がある。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
同州は、南緯27度、面積88199Km<sup>2</sup>、人口900千人、年間雨量1293mm、平均年間気温は15~40℃で、概して農作物生産に適した土壌風土であり、主要産業は林業、稲作、マテ茶栽培、柑橘類栽培、野菜栽培である。しかし、概して収入は低迷している。こうした状況から、同センターでは代替作物の導入に積極的に取り組んでおり、その一つとして、地域の立地条件を活かした花き栽培計画がある。この花き栽培に関して、州政府は農村開発及び雇用機会の促進等に貢献するための有望な産業として期待しており、優先度の高い分野であるが、新規分野であるため人材不足は否めず、その育成が急務となっている。

2) 期待される具体的業務内容  
- コリエンテス州の立地条件に適し、且市場商品価値の高い花き種の選定。  
- 選定した花き種に関する評価、選抜及び増殖  
- 花き栽培技術指導(切花、プランタ栽培、亜熱帯気候の効果的な活用等について)  
- 生産技術の移転と評価  
- 農家、技術者及び学生を対象にした研修・セミナーへの参加・実施

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
農機具、ビニールハウス、灌漑設備、病害、土壌及びバイテク研究室

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
農学技師(男性3名、45歳-55歳)

5) 業務使用言語  
◎ スペイン語  
( )  
○ ( )

6) 選考指定言語  
☑ 英語 (レベル: B)  
☑ スペイン語 (レベル: B)

資格条件  
条件(資格、免許、性別)及びその理由  
性別理由:  
学歴理由: CPの学歴が大卒以上であるため  
経験理由: CPの職歴が15年以上であるため  
理由: 業務遂行上必要であるため  
理由:

・学歴 大卒 農学  
・経験 実務経験 15年以上  
・花き生産増殖技術経験

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域況 気候(亜熱帯性) 気温( 15 ~ 40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 7 月 5 日

要請番号( SL 333 - 10 - D - 03 )

調査者名: 赤木 幸次

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ウルグアイ	職種 花き栽培 (コード 1002 )	○新規 ●交替 2 代目	●2 年 ○1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 花き栽培			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Flower Growing			2	23 / 2	
指導科目(英) Flower Growing	3	/				
プログラム番号・名		プロジェクト名				

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 大統領府予算企画庁 (受入機関名)(英語) Government House Budget and Planning Office
	2) 配属先名 (日本語) セロラルゴ県 社会促進課 (英語) Cerro Largo Prefectural office. Socila promosion department
	3) 任地 セロラルゴ県メロ市 首都( モンテビデオ )から 北東 方向 387 Km 主要都市( メロ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 5.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) セロラルゴ県県庁は県内行政に係る立案・管理・運営の業務、県民約86000人に対し、社会・文化・経済等の分野で公的サービスを提供している。地域は基幹産業がなく首都圏から離れているため低所得家庭が多数ある。社会促進課は県内貧困地域住民への生活改善促進業務を担っており、給食・軽食配給センターを県内に設置し、地域住民による運営・管理を促進するなどの生活改善助言を実施している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在22年2次隊の花卉栽培のSVが活動を行っている。活動の目的は、活動先である県立育苗圃場のスタッフの技術力向上と、配属先である県庁が行っている環境整備(公共施設への花の提供、「花一杯運動」等)の支援である。圃場のスタッフが技術的に自立するために継続的な協力を必要としている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 県内公共緑地への移植を目的に県立育苗圃場で行われる花卉栽培への助言と新技術の導入を行う。 2. 県庁が行っている花一杯運動などに協力している花クラブへの支援を通して街の環境整備に協力をする。 3. 栽培されている花(アジサイ、サルビア、くちなし等)		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 花卉栽培に必要な農具		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 植林技術者: 男性 40代	5) 業務使用言語 ● スペイン語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ スペイン語 (レベル: C)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 花卉栽培経験者 性別理由: 学歴理由: 経験理由: 理由: 理由:
------	--

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地域況 気候(温暖気候 ) 気温( 3℃から30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 7 月 7 日

要請番号( SL 060-10-D-07)

調査者名:小澤 重久

国名	職種/指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ネパール	職種 野菜栽培	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目 野菜栽培			2	/
	職種(英) Vegetable Growing			3	/
	指導科目(英) Protected Vegetable Production				年 月 日から

プログラム番号・名 0600000000010 プロジェクト名  
 農業農村開発プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Cooperatives
	2) 配属先名 (日本語) 中央野菜種子生産センター (英語) Central Vegetable Seed Production Centre
	3) 任地 ラリトプール郡ラリトプール市クマリタール 首都(カトマンズ)から 南 方向 4 Km 主要都市(カトマンズ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 政府の中央野菜種子生産センターが持つ農場で野菜栽培を行いながら、地方農業開発事務所を通じて種を農家へ提供している。また、トレーニングセンターを併設しており、ジュニアテクニシャンとよばれる地方農業開発事務所の技術者への研修も行っている。年間予算は約650万円であり、ネパール固有の野菜種子の調査や保護にも取り組むなど、農業の発展と保護に重要な役割を果たしている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 首都カトマンズで急速に都市化が進む中、市場も変化し、同センターでは近郊農家向けのビニールハウス栽培の普及を計画している。また、近年の気候の変化も影響し、病虫害の被害が増え、適切な対応が求められている。同センターには、ビニールハウス経験者が少なく、農家の要請にこたえるべく、SVの要請に至った。現在、同センターの農場ではビニールハウスでF1ハイブリッドトマトの栽培が行われている。SVには、地方農業開発事務所、農家の技術指導に従事する技術者へのビニールハウス栽培や病虫害対策のトレーニングが期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 配属先の担当者と協力し以下の課題に取り組む。 1. 地方農業開発事務所の技術者へのビニールハウス栽培、病虫害対策指導 2. 配属先農場でのビニールハウス栽培の実施、デモンストレーション 3. 地方農業開発事務所、農家へ出向いての農業指導		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、その他実験農場と農作業・農業指導を行う基本農具、用具はそろっている		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 事務所 45歳代 野菜担当主任2名 30歳代 技術者 6名 30-50歳代	5) 業務使用言語 ● ネパール語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		性別理由:
	・学歴 大卒 農学	・経験 実務経験 10年以上	学歴理由: 学歴社会であるため 経験理由: 経験のある技術者への指導を行うため 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無	○車輦 ○単車 ○自転車				

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(亜熱帯気候) 気温(0-35℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし)
	水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄 グループ 派遣	受験番号
----------------------	------

記入日:平成 22 年 6 月 7 日

要請番号( SL 445 - 10 - D - 01 )

調査者名: 西井 洋介

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
トルコ	職種 野菜栽培 (コード 1003 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 野菜栽培			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Vegetable Growing			2	23 / 2	
指導科目(英) Vegetable Growing	3	/				
プログラム番号・名 445000000001		プロジェクト名				
地域開発						

1) 受入省庁名(日本語) 農業農村開発省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Rural Affairs(MARA)

2) 配属先名 (日本語) トラブゾン県農業局  
 (英語) Trabzon Provincial Directorate of Agriculture (PDA)

3) 任地 トラブゾン  
 首都( アンカラ )から 北東 方向 1,300 Km  
 主要都市( アンカラ )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 農業農村開発省はトルコにおける農業・農村開発の所管省庁だが、各県における技術者を通じた農民への実質的な支援業務は、同省傘下の各県農業局が担う(ただし技術的内容は農業農村開発省本局より直接指導)。トラブゾン県は17の郡事務所と県農業局の技術者で実務を行っており、約100名の技術者を擁する。「東部黒海地域営農改善計画(DOKAP-TARIM)」プロジェクトカウンターパートも同県農業局技術者である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 【グループ派遣】トルコ東部黒海地域は、茶やナッツ等を初めとした農業を中心とした低所得地域で、就業人口の6割が農業従事者である。同地域のモノカルチャーによる経済構造の脆弱性を改善し、地域格差を是正するため、JICAはトラブゾン県を中心に、同地域6県において「東部黒海地域営農改善計画(DOKAP-TARIM)」プロジェクトを実施、営農改善、生活改善に取り組んできた。同プロジェクトは2010年3月に終了、活動はトルコ側が引き継いでいるが、活動のうち一部、特に野菜栽培技術については更なる活動拡大、技術改善のニーズがあり、シニアボランティアによる支援要請が出された。

2) 期待される具体的業務内容  
 同時期に派遣される他シニアボランティア(「フルーツ栽培」、「生活改善」、「地場産品加工」、「グループ調整員」)と連携し、特に野菜栽培(具体的にはスイートポテト、スイートコーン、ハウス栽培技術等)について以下の活動を行う。  
 ・トラブゾンおよび対象6県において、MARA農業技術者と協働しながら、農民の野菜栽培改善に協力する。  
 ・マーケット情報に基づいた、野菜栽培にかかるアドバイス。  
 ・主にトラブゾンにおいて、同地域における特定野菜の適応検証の実施。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 特になし

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 DOKAP-TARIMプロジェクト担当者が5名配属。いずれも農業技術者であり、それぞれマーケティング、普及、組合活動、女性活動、営農改善を担当。現在全員男性。近日中に女性活動担当者が女性に交代予定。

5) 業務使用言語  
 ● トルコ語 ( )  
 ○ 英語 ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: B)  
 (レベル: )

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 ・経験 実務経験 10年以上  
 性別理由:  
 学歴理由:  
 経験理由: 指導に必要な経験のため  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性  
 有  無  車輦  単車  自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度  
 P

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(日本の東北付近と同様) 気温( -5から30℃位) 電気(  安定  不安定  なし)  
 電話(  インターネット可  通話可  不良  なし ) 水道(  安定  不安定  なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 5 日

要請番号( SL 545 - 10- D- 01 )

調査者名: 古川 順

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 野菜栽培	○新規 ●交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 2
	指導科目 農業技術・管理運営指導			2	/
	職種(英) Vegetable Growing			3	/
	指導科目(英) Agriculture Technical Advisor				年 月 から

プログラム番号・名 5450000000017 プロジェクト名  
 地場産業強化・振興

1) 受入省庁名(日本語) 農業畜産水産省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Animal Industries and Fisheries

2) 配属先名 (日本語) ムコノ農業普及訓練所  
 (英語) Mukono Zonal Agricultural Research and Development Institute

3) 任地 ムコノ県ムコノ  
 首都(カンバラ)から 東 方向 20 Km  
 主要都市(カンバラ)までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 農業試験・技術普及・研修の機能を兼ね備えた施設。①首都カンバラを中心としたビクトリア湖沿い扇型地域(LVCZ:Lake Victoria Crescent Zone)における農業生態圏に適した農業技術の開発・普及のためのプロジェクトの推進、②モデルファームとしての機能、③優良種子・優良苗・優良家畜の増殖と普及、④農業指導者への訓練や農業従事者への研修等を行なっている。年間予算は274,000ドル。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 1998年8月から畜舎・農場整備・灌漑施設・教育施設・給水施設などの建設、1999年3月から農場・財務運営、農民教育、作物、畜産の分野で日本の技術協力が行なわれた。(2000年6月でプロジェクト終了)その後、家畜飼育、野菜の計4名の隊員が派遣された。近年国の重要な農業研究機関として事業内容・機能・名称が変更され技術面および管理・運営に対する助言が求められたためSV要請が出された。現在、初代のSVが活動中である。

2) 期待される具体的業務内容  
 1. 配属先のプロジェクトに参加し、技術・運営に対する助言を行うことによってプロジェクト目標達成への貢献を図る。  
 2. 配属先のスタッフとよく話し合いながら、同施設の管理・運営面での助言や改善点等の提言を行う。  
 3. 農民のニーズを反映した野菜栽培法の改善や試験・研究プランを作成する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 農業、実験器具等一式

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ディレクター1名(50代) リサーチオフィサー2名(50代女性/博士) 一般スタッフ約20名(20~50代/大卒等)	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル: )
--	--------------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・学歴 大卒	農学	性別理由:
・経験 実務経験	5年以上	学歴理由: 専門知識を有するスタッフに助言するため
		経験理由: 野菜栽培が稲作栽培の経験
		理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性  
 有  無  車輦  単車  自転車

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温(15~30℃位) 電気安定 不安定 なし  
 況域 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
グループ 派遣	

記入日:平成 22 年 6 月 7 日

要請番号( SL 445 - 10 - D - 02 )

調査者名: 西井 洋介

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
トルコ	職種 果樹栽培 (コード 1004 )	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 フルーツ栽培			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Fruit Growing			2	23 / 2	
指導科目(英) Fruit Growing	3	/				

プログラム番号・名 4450000000001 プロジェクト名 地域開発

1) 受入省庁名(日本語) 農業農村開発省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Rural Affairs (MARA)

2) 配属先名 (日本語) トラブゾン県農業局  
 (英語) Trabzon Provincial Directorate of Agriculture (PDA)

3) 任地 トラブゾン  
 首都( アンカラ )から 北東 方向 1,300 Km  
 主要都市( アンカラ )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 農業農村開発省はトルコにおける農業・農村開発の所管省庁だが、各県における技術者を通じた農民への実質的な支援業務は、同省傘下の各県農業局が担う(ただし技術的内容は農業農村開発省本局より直接指導)。トラブゾン県は17の郡事務所と県農業局の技術者で実務を行っており、約100名の技術者を擁する。「東部黒海地域営農改善計画(DOKAP-TARIM)」プロジェクトカウンターパートも同県農業局技術者である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 【グループ派遣】トルコ東部黒海地域は、茶やナッツ等を初めとした農業を中心とした低所得地域で、就業人口の6割が農業従事者である。同地域のモノカルチャーによる経済構造の脆弱性を改善し、地域格差を是正するため、JICAはトラブゾン県を中心に、同地域6県において「東部黒海地域営農改善計画(DOKAP-TARIM)」プロジェクトを実施、営農改善、生活改善に取り組んできた。同プロジェクトは2010年3月に終了、活動はトルコ側が引き継いでいるが、活動のうち一部、特にフルーツ栽培技術については更なる活動拡大、技術改善のニーズがあり、シニアボランティアによる支援要請が出された。

2) 期待される具体的業務内容  
 同時期に派遣される他シニアボランティア(「野菜栽培」、「生活改善」、「地場産品加工」、「グループ調整員」)と連携し、特にフルーツ栽培(具体的にはベリー類(いちご、ブルーベリー、ラズベリー、ブラックベリー)、キウイ、柿等)について以下の活動を行う。  
 ・トラブゾンおよび対象6県において、MARA農業技術者と協働しながら、農民のフルーツ栽培改善に協力する。  
 ・マーケット情報に基づいた、フルーツ栽培にかかるアドバイス。  
 ・主にトラブゾンにおいて、同地域における特定フルーツの適応検証の実施。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 特になし

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル DOKAP-TARIMプロジェクト担当が5名配属。いずれも農業技術者であり、それぞれマーケティング、普及、組合活動、女性活動、営農改善を担当。現在全員男性。近日中に女性活動担当が女性に交代予定。	5) 業務使用言語 ● トルコ語 ( ) ○ 英語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )
---	-------------------------------------	--

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 学歴理由:  
 経験理由: 指導に必要な経験のため  
 理由:  
 理由:

・経験 実務経験 10年以上

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		P	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(日本の東北付近と同様) 気温( -5から30℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
 電話(☑インターネット可 ☐通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 7 日

要請番号( SL 239 - 10 - D - 01 )

調査者名: 竹林あゆ美

国名	職種/指導科目 (コード 1005)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ホンジュ ラス	職種 組織培養	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目 組織培養			2	23 / 2
	職種(英) Tissue Culture 指導科目(英) Tissue Culture			3	/

プログラム番号・名: 社会経済開発プログラム  
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 国家計画・国際協力省  
 (受入機関名)(英語) Technical Secretariat of Planning and External Cooperation(SEPLAN)

2) 配属先名 (日本語) ホンジュラス国立自治大学アトランティコ校  
 (英語) Honduras National Autonomous University

3) 任地 アトランティダ県ラ・セイバ市  
 首都( テグシガルパ )から 北東 方向 400 Km  
 主要都市( サンペドロスーラ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 農業学中心の北部に位置する自治大学。同校には、農業工学科、森林工学、農業経済学科、看護学科、エコツーリズム学科、ビジネスアドミニストレーション学科がある。全学生数1430名(農業工学科は267名)。年間予算は8.5百万ドル。過去25年間(1981~2006年)でJICAボランティアは、音楽・花き・システムエンジニア・組織培養の職種で合計7名派遣された。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 配属先の植物生産学科(組織培養)、生物学科(分子生物学)で、果物、バナナ、花(蘭)の組織培養を応用した、耐性農産物・品種改良農作物の作出、栽培の生産活動の支援が求められている。

2) 期待される具体的業務内容  
 配属先の教官と生徒を対象に、以下の業務を行う。  
 1. 果物(パイナップル、バナナ等)やとうもろこし等の品種改良についての技術支援。  
 2. 果物(パイナップル、バナナ等)やとうもろこし等の優良品種の増産のための技術支援。  
 3. 上記技術の地域社会への普及活動のサポート。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 オートクレーブ、カメラ、pH計、ホットプレート、オーブン、培養室、双眼顕微鏡、分析天秤、農耕作機械(トラクター2台、トラクター付属機械)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 男性1名(50代、教授)、女性1名(50代、教授)  
 男性2名(40代、教官)、女性1名(40代、教官)  
 男性1名(50代、教官)

5) 業務使用言語  
 ● スペイン語  
 ( )  
 ○ ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: B)  
 (レベル: )

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・学歴 大卒  
 ・経験 実務経験 5年以上

性別理由:  
 学歴理由: 同僚とのバランス  
 経験理由: 同僚への指導が望まれているため  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温( 20-35℃位) 電気安定 不安定 なし  
 況域 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 10 日

要請番号( SL 324 - 10- D- 08 )

調査者名:長谷川 辰雄

国名	職種/指導科目 (コード 1101 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグアイ	職種 病虫害対策 指導科目 病害防除	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Disease and Pest Control 指導科目(英) Plant Diseases			2	23 / 2
				3	/

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名  
 小農自立化支援

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) 国立農業研究所 (英語) National Institute of agriculture
	3) 任地 コルディジェラ県カアクペ市 首都( アスンシオン市 )から 東 方向 45 Km 主要都市( アスンシオン市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同研究所では、1997年から2002年まで、JICAによって「小農野菜生産技術改善」プロジェクトが実施された。同プロジェクトでは育種、栽培、病害防除、虫害防除の各分野の実験室が整備され、小農に適した栽培技術の開発、病虫害の防除法の開発、適正品種の育種等の活動と、栽培技術の普及が行われてきた。2005年4月から虫害防除のSV、2007年3月から病害防除のSVが派遣されてきた。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) パラグアイでは人口の半数近くが農村部に分布しているものの、小農対策は最も対応が遅れており、国内では30%弱にもなる土地なし農民が存在する。これら小農の生産基盤および生産技術強化、生産物の多様化や付加価値の向上は農業セクター強化の支柱になる。研究所ではこれら背景を踏まえ、小農に適した栽培技術の開発、病虫害の防除法の開発、適正品種の育種等の開発と合わせてこれら適正技術の普及を行ってきた。プロジェクト終了後は独自に活動を継続してきたが、専門的な技術指導が必要となり、ボランティアの要請に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 前任SVの活動をさらに機能的かつ効率的に進めるため、下記項目についてカウンターパートへの指導を行う。 1. 野菜(トマト、ナス、メロン等)の病害の実態調査 2. 病害(ウイルス病、細菌病)の同定 3. これら病害の防除法の開発 4. 病害防除にかかる技術指導と普及活動		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 光学顕微鏡、クリーンベンチ、恒温器、オートクレーブ、乾熱滅菌器、冷蔵庫、実体顕微鏡		

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		性別理由:
	・経験 実務経験 5年以上		学歴理由: 経験理由: 実務を通じてカウンターパートへ指導を行うため 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温( 5~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
-----	---

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 10 日

要請番号( SL 324 - 10 - D - 06 )	調査者名: 澤田 和宏
------------------------------	-------------

国名	職種/指導科目 (コード 1102 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグアイ	職種 土壌肥料	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目 土壌分析			2	23 / 2
	職種(英) Soils and Fertilisers 指導科目(英) Soil analysis			3	/

プログラム番号・名 324000000010 小農自立化支援	プロジェクト名
-----------------------------------	---------

1) 受入省庁名(日本語) 農牧省  
(受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Stock Raising

2) 配属先名 (日本語) 地域農業研究センター  
(英語) Regional Agricultural Investigation Center

3) 任地 イタプア県カピタン・ミランダ市  
首都( アスンシオン )から 南東 方向 450 Km  
主要都市( エンカルナシオン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
1980年前半の南部パラグアイ農林業開発計画で開設された地域農業研究センターでは、1990年から主要穀物生産強化プロジェクト(～1997年)を実施し、大豆・小麦に関する育種、栽培、土壌の研究体制及び種子生産体制の強化に協力してきた。さらに2006年から2008年2月まで、大豆さび病抵抗性品種の育成プロジェクトが実施された。現在大豆育種に関しSVが活動中である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
1990年から地域農業研究センターでは、技プロ「主要穀物生産強化プロジェクト」を経て、大豆・小麦に関する育種、栽培、土壌肥料の分野で技術指導が行われてきており、パラグアイ農業生産に大きな成果を残すに至った。2006年から大豆の病害について専門家の技術指導が継続され、2008年から大豆育種SVが活動中で2010年10月までの任期となっているが、この成果を継承するためにも人材育成が急務となっており、土壌管理にかかるSVの支援が望まれている。

2) 期待される具体的業務内容  
下記の項目について、カウンターパート及びスタッフに対して、技術支援を行う。  
1. 土壌および植物体の多量、微量要素の分析。  
2. 各種土壌分析方法の有効性と現地適応性。  
3. 土壌診断に基づく土壌改良に関する技術。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
電子天秤、播種機、土壌水分計、地中温度計、蒸留水製造装置、その他実験用ガラス器具等一式

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
主任カウンターパート: 土壌管理主任、女性、40歳半ば、スタッフ: 農業助手1名

5) 業務使用言語  
● スペイン語 ( )  
○ その他 ( )

6) 選考指定言語  
☑ 英語 (レベル: B)  
□ (レベル: )

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
・学歴 大卒 農学	学歴理由: 同僚が同等以上の資格を有している
・経験 実務経験 10年以上	経験理由:
	理由:
	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(亜熱帯 ) 気温( 0~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 6 月 28 日

要請番号( SL 060 - 10 - D - 04 )

調査者名:小澤 重久

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ネパール	職種 農業協同組合 (コード 1501 )	○新規 ●交替 5 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目 協同組合研修			2	/
	職種(英) Farmer's Co-operatives 指導科目(英) Training Advisor of Cooperatives			3	/
				年 月 日から	

プログラム番号・名 プロジェクト名

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業協同組合省 協同組合局 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Cooperatives, Department of Cooperatives
	2) 配属先名 (日本語) 協同組合研修センター (英語) Central Co-operative Training Centre
	3) 任地 カトマンズ郡カトマンズ市ナヤパネショール 首都( カトマンズ )から 東 方向 4 Km 主要都市( カトマンズ市 )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、国内唯一の政府の協同組合研修機関である。同国では住民の自主的な事業体である協同組合を通じた収入、生活向上が期待されている。しかし、組織マネジメントにおいて、多くの課題が指摘されており、半数近くの組合が適切に機能していないと言われている。これまで、「組織運営」「協同組合研修」のSVが4代にわたり派遣されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先では全国の組合役員や政府機関職員を対象に、「協同組合の理念」や「経営・予算管理」、「マーケティング」等の研修を随時実施している。これまでの協力では、主に日本の経験を基にした研修教材の作成、研修の実施及び同国のニーズに合った研修作りの現状調査等を行ってきた。同国の組合は、貯蓄信用事業が中心であるが、近年、農協や生協を指向する組合も増えてきた。現在活動中のSV(2011年3月まで)は、生産や購買事業に関わる財務経理等の研修内容の充実に取り組んでいる。これらの活動を配属先の活動として定着させたいため、後任の要請に至った。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 研修プログラムやカリキュラム改善に関するアドバイス 2. 日本の協同組合(農協、生協等)の組織・事業紹介及び教材開発 3. インストラクターに対する教授法のアドバイス及び講義サポート
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、マルチメディア・プロジェクター、小型DVDプレーヤー

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル インストラクター 40-50歳代男性、約10名 (学歴と知識はあるが、実務経験なし) 研修生(多くは組合役員 中・高卒程度) (政府機関職員の場合もあり)	5) 業務使用言語 ● ネパール語 ( ) ○ 英語 ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		

・学歴 大卒	性別理由:
・経験 実務経験 10年以上	学歴理由: 学歴社会のため
	経験理由: 指導者への指導を行うため
	理由:
	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(亜熱帯気候 ) 気温( 0-35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 6 月 28 日

調査者名: 小澤 重久

要請番号( SL 060 - 10 - D - 05 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ネパール	職種 農業協同組合 (コード 1501 )	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目 協同組合研修・活動促進			2	/
	職種(英) Farmer's Co-operatives			3	/
	指導科目(英) Co-operative Promotion & Training				
年 月 日から					

プログラム番号・名 0600000000010 プロジェクト名  
 農業農村開発プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業協同組合省 協同組合同局 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Cooperatives, Department of Cooperatives
	2) 配属先名 (日本語) NGO、全国協同組合連合会 (英語) NGO、National Cooperative Federation of Nepal Ltd. (NCF)
	3) 任地 カトマンズ郡カトマンズ市ビジュリバサル 首都( カトマンズ )から 東 方向 3 Km 主要都市( カトマンズ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は1993年設立の協同中央会で、国際協同組合連盟に加入している国内唯一の組織である。その活動は協同組合の普及促進、政府への陳情、生活改善運動、組合関係者の教育訓練などである。また、独自のビジネスとしてセメント販売や人材派遣事業も行っている。職員数は17名、研修教育課、広報に各1名がおり、各種研修を実施している。年間予算は約5千5百万円。07年4月よりSVが活動中。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 国民の大部分が農家である同国では、貧困対策における協同組合の果たす役割は大きい。しかし、協同組合教育の不徹底、リーダーシップの欠如、経営能力不足など様々な問題を抱えている組合が多い。同連合では、住民に対する組合設立のための啓発活動、組合運営健全化や事業強化のための教育カリキュラムの設定、教材の開発等を実施しているが、人材不足のために必要分野の全般をカバーできていない。現在活動中SV(2011年3月まで)は、様々な地域の実情視察を行い、協同組合研修センター配属のSVとも協力し日本での経験を基に同国の協同組合活動の促進に取り組んでおり、活動の定着に向け後任要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容  
 研修担当者及びスタッフと協力して、以下の活動を行う。  
 1. 現行トレーニングの評価・見直しと研修モデルの確立に努める。  
 2. 実効的カリキュラムの策定。特に、販売事業や小規模事業の起業・経営関連の研修の充実を図る。  
 3. 現在実施中の各種研修(トレーナー育成、リーダーシップ・トレーニング、実務、組織運営等)へのサポートを行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 デスクトップパソコン、ラップトップパソコン、小型スピーカー、マルチメディア・プロジェクター、スクリーン等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 専務理事 40歳代 研修スタッフ 男性3名 女性1名 30歳代、修士または大卒	5) 業務使用言語 ● ネパール語 ( ) ○ 英語 ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル: )
--	--	---

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 ・学歴 大卒  
 ・経験 実務経験 10年以上  
 性別理由:  
 学歴理由: 学歴社会であるため  
 経験理由: 配属先スタッフ以上の経験が必要  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		N	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(亜熱帯気候) 気温( 0-35℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 10 日

要請番号( SL 324 - 10 - D - 04 )

調査者名: 森田 音佳

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パラグアイ	職種 村落開発普及員 (コード 1503 )	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 生活改善			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development			2	23 / 2	
指導科目(英) Lifestyle Improvement	3	/				
プログラム番号・名 3240000000010 小農自立化支援		プロジェクト名				

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 農牧省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Stock Raising

2) 配属先名 (日本語) 農牧省農業普及局  
 (英語) Diffusion Department of the Ministry of Agriculture and Stock Raising

3) 任地 セントラル県サンロレンソ市  
 首都( アスンシオン )から 東 方向 12 Km  
 主要都市( アスンシオン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 農牧省農業普及局は全国に142か所の普及事務所と18か所の監督官事務所、519名の職員を有する。同局では主要な業務として、農家に対する生活改善指導や栽培技術研修会などを行っている。現在、農牧省関係機関に対しJICAより、小農支援のための総合的開発調査、有償資金協力(PG-P14)が行われているほか、これまでにSV、JOCVが多数派遣されている。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 JICAパラグアイでは小農自立化支援プログラムに沿い「小農支援のための総合的開発調査」(2009年2月~2010年12月)を進めており、農牧省農業普及局も協力機関として選出されている。同局には農業技術や生活改良普及員の人材が豊富だが、組織機能が脆弱でこれを活かしてきていない。同調査では、生活改良普及員の組織化および本局と地方事務所の連携強化を図り、生活改善にかかるパイロットプロジェクトを企画・実行する。派遣されるSVは、本局と地方との連携強化と普及局全体の組織強化(生活改善部門)に協力する。農村開発についての知識・経験が豊富で、求心力・指導力に長けた人材が求められている。

2) 期待される具体的業務内容  
 1. 農業普及局内の人材をリストアップし、若い世代の職員たちが生活改良普及員として活躍するための教育チームを組織する。  
 2. 局内にある有益な資料や教材について、これを職員教育や現場で利用できるように整理する。  
 3. 「小農支援のための総合的農村開発計画」と連携し、農業普及局の職員たちとともに、農業普及本局と18の地方監督事務所(CDA)の連携強化に向けた助言・働きかけを行う。  
 4. 組織化を担当する本局職員(G/P)たちとともに、地方の生活改良普及員の組織化を目指した助言や働きかけを行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 事務用機器一式

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 部長 40代 男性  
 農業技師 40代~50代 男女 大学卒以上 数名  
 指導対象 20代~50代 生活改良普及員 主に女性 約60名

5) 業務使用言語  
 ● スペイン語  
 ○ ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: B)  
 スペイン語 (レベル: B)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:  
 学歴理由:  
 経験理由: 生活改良普及員を総括する立場であるため  
 理由: 生活改良普及員を総括する立場であるため  
 理由:

・経験 実務経験 5年以上  
 ・生活改良普及員

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域

気候(亜熱帯) 気温( 0~40℃位) 電気安定 不安定 なし  
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄  
 グループ  
 派遣

受験番号

記入日:平成 22 年 6 月 7 日

要請番号( SL 445 - 10- D - 03 )

調査者名: 西井 洋介

国名	職種/指導科目 (コード 1503 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
トルコ	職種 村落開発普及員	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目 生活改善			2	23 / 2
	職種(英) Rural Community Development			3	/
	指導科目(英) Livelihood Improvement Program				年 月 日 から

プログラム番号・名 4450000000001 プロジェクト名  
 地域開発

1) 受入省庁名(日本語) 農業農村開発省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Rural Affairs (MARA)

2) 配属先名 (日本語) トラブゾン県農業局  
 (英語) Trabzon Provincial Directorate of Agriculture (PDA)

3) 任地 トラブゾン  
 首都( アンカラ )から 北東 方向 1,300 Km  
 主要都市( アンカラ )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 農業農村開発省はトルコにおける農業・農村開発の所管省庁だが、各県における技術者を通じた農民への実質的な支援業務は、同省傘下の各県農業局が担う(ただし技術的内容は農業農村開発省本局より直接指導)。トラブゾン県は17の郡事務所と県農業局の技術者で実務を行っており、約100名の技術者を擁する。「東部黒海地域営農改善計画(DOKAP-TARIM)」プロジェクトカウンターパートも同県農業局技術者である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 【グループ派遣】トルコ東部黒海地域は、茶やナッツ等を初めとした農業を中心とした低所得地域で、就業人口の6割が農業従事者である。同地域のモノカルチャーによる経済構造の脆弱性を改善し、地域格差を是正するため、JICAはトラブゾン県を中心に、同地域6県において「東部黒海地域営農改善計画(DOKAP-TARIM)」プロジェクトを実施、営農改善、生活改善に取り組んできた。同プロジェクトは2010年3月に終了、活動はトルコ側が引き継いでいるが、活動のうち一部、特に村落内生計向上活動支援、女性活動支援については更なる活動拡大、技術改善のニーズがあり、シニアボランティアによる支援要請が出された。

2) 期待される具体的業務内容  
 同時期に派遣される他シニアボランティア(「野菜栽培」、「フルーツ栽培」、「地場産品加工」、「グループ調整員」)と連携し、トラブゾンおよび対象6県において特に村落内での生活改善活動、女性グループ活動支援を実施する。  
 ・村落内活動グループの維持、形成、活動支援。  
 ・女性活動ニーズの把握、女性グループの形成、活動を支援。  
 ・農産品、手工芸、農産品加工品等に係る市場性や、商品開拓を支援。  
 ・農民に対する、各種生計向上活動、女性活動にかかる普及啓蒙活動を支援。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 特になし

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル DOKAP-TARIMプロジェクト担当者が5名配属。いずれも農業技術者であり、それぞれマーケティング、普及、組合活動、女性活動、営農改善を担当。現在全員男性。近日中に女性活動担当者が女性に交代予定。	5) 業務使用言語 ● トルコ語 ( ) ○ 英語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )
---	---	--

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 ・性別 女性 性別理由: 主に女性を対象とした活動となるため  
 学歴理由:  
 ・経験 実務経験 5年以上 経験理由: 指導に必要な経験のため  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		P	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域況 気候(日本の東北付近と同様) 気温( -5から30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 7 日

要請番号( SL 106 - 10 - D - 09 )

調査者名: 豊嶋 道代

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
フィジー	職種 農業生産技術 (コード 1903 )	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 農学教育指導			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Agricultural technology 指導科目(英) Agriculture Education Adviser			2	23 / 2	
		3	/			

プログラム番号・名 1060000000004 プロジェクト名 小規模産業育成

1) 受入省庁名(日本語) 教育省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Education

2) 配属先名 (日本語) フィジー国立大学 農林水産学部  
 (英語) Fiji National University, College of Agriculture, Fisheries and Forestry

3) 任地 ナウソリ  
 首都( スバ )から 北東 方向 17 Km  
 主要都市( スバ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 フィジー国立大学は6校の国立高等教育機関が統合され、2010年に発足した。農林水産学部には熱帯農学、熱帯林学、水産学のコースがある。熱帯農学科の前身は1962年に設立された農業専門学校で、3年間で修了資格が取得でき、サモアにある南太平洋大学農学部で追加コースを修了すれば熱帯農学士が取得できる。年間予算は1,000,000米ドル。外国人スタッフはフィリピン人講師1名、JOCV(野菜)1名。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 前任者は熱帯農学科のカリキュラムおよびシラバスの改善、家畜衛生学のコース新設のためのカリキュラム編成、スタッフの研究指導、地域の農業振興のためのワークショップ開催等に取り組んでいる。熱帯農学科の学生は、1年目は理工学部サンプラ校で一般教養を履修し、2、3年目はナウソリの同学科で寮生活を送りながらコースを修了しディプロマを取得するシステムになっている。将来的には学士号が授与できる体制を目指しており、そのためには継続的な協力が必要となることから、後任の要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容  
 1. 学部長のアドバイザーとして学部運営全体を見直し助言する。  
 2. 農業を通じた持続可能な村落開発のノウハウを講師及び学生に指導する。  
 3. 関係省庁や地方の農業普及センターと連携した研修などを企画・提案・実施する。  
 4. 熱帯農学のカリキュラム改善および家畜衛生学のカリキュラム作成を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 パソコン

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 学部長(女性、50歳代)、講師6名(女性1名、男性5名、30~50代)

5) 業務使用言語  
 ● 英語  
 ○ ( )

6) 選考指定言語  
 ☑ 英語 (レベル: B)  
 □ (レベル: )

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 ・学歴 修士 農学  
 ・経験 実務経験 10年以上  
 性別理由:  
 学歴理由: 配属先が示す条件  
 経験理由: 配属先が示す条件  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性  
 ○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(熱帯海洋性) 気温( 16-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(  JV  日青  SV  日SV )  
 短期(  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 5 日

要請番号( SL 303 - 10 - D - 02 )

調査者名: 佐藤 睦美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 農業土木 (コード 1201 ) 指導科目 農業用水利用(ため池)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	● 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英) agricultural water use (reservoir)			2	23 / 2
	3			/	
				年	月
				から	

プログラム番号・名 3030000000008 プロジェクト名  
 その他(自然資源保護)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国立農牧技術院 (受入機関名)(英語) National Institute of Agricultural Technologies - INTA
	2) 配属先名 (日本語) 国立農牧技術院サエンス・ペーニャ農業試験場 (英語) Saenz Pena Experimental Station, INTA
	3) 任地 チャコ州サエンス・ペーニャ市 首都( ブエノスアイレス市 )から 北 方向 1200 Km 主要都市( レンステンシア市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1956年設立の農牧水産食糧省傘下の独立行政法人で、天然資源と環境の保全、農牧業の研究開発・人材育成、生産者への普及業務などを実施。国内各地に15の地域センター、47農業試験場、4研究センターを有し、各種研究開発や農産物の競争力向上、農民の生活向上等の各種プロジェクトを実施している。JICAの協力は、現在2名のSVが活動中の他、第三国研修も実施している。http://www.inta.gov.ar

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) チャコ州の人口約98万人の内、11万人が森林地帯に居住する先住民である。先住民の生活向上を目指し、農林業、工業推進プラン実施と併せ、減少傾向にある原生林の環境保全が行われている。また、チャコ州では近年干ばつと洪水を繰り返す、経済的に大きな打撃を受けている。配属先は灌漑用水の適切な利用及び排水施設の開発プラン・研究を行っており、2011年3月に任期を終了するSVは現在小ため池プロジェクトを行っている。しかし配属先には同分野で専門知識を有する技術者が不足しているため、継続した指導が必要である。		
	2) 期待される具体的業務内容 サエンス・ペーニャ市(人口7万人/亜国内の他地域に比べ生活環境は厳しい)の近郊にある農業試験場及び西方100kmまでのため池プロジェクトサイトにて下記の活動を行う。 ・活動サイトのため池に関する問題の分析、ため池設計・建設指導、情報収集 ・地域住民を対象としたため池、給水、地下ダムに関するセミナーの開催 ・村落における水技術経験の体系化 (プロジェクトサイトへ移動の際は、早朝出発)		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 光波測距儀、簡易水質検査キット		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業技師6名(天然資源、土壌、村落開発、水質他専門)	5) 業務使用言語 ● スペイン語 ( ) <input type="radio"/> ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> スペイン語 (レベル: C)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	・学歴 大卒 ・経験 実務経験	農学 5年以上	性別理由: 学歴理由: スタッフが大卒である。 経験理由: 対象地域農家への指導を行うため 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度
<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	<input type="radio"/> 車輜 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車			

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯乾燥) 気温( 0~40℃位)	電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし )	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 6 月 28 日

要請番号( SL 066 - 10 - D - 01 )

調査者名: 児島 盛之

国名	職種/指導科目 (コード 1202 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
スリラン カ	職種 農業機械	○新規 ●交替 2 代目	●2 年 ○1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目 農業機械			2	23 / 2
	職種(英) Agricultural Machinery 指導科目(英) Agricultural Machinery			3	/
年 月 から					

プログラム番号・名 0660000000004 プロジェクト名 農漁村・地方開発プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業開発・農民事業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agricultural Development and Agrarian Services Development
	2) 配属先名 (日本語) 農業機械化訓練所 (英語) Farm Mechanization Training Center (FMTC)
	3) 任地 アヌラダプラ 首都( スリ・ジャヤプラダナ・コッテ )から 北 方向 200 Km 主要都市( コロンボ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 6 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、1971年に設立され、農業の機械化を促進するために、農民や農業学校の学生、教員に対して農業機械の操作法や維持管理、薬剤散布機や揚水ポンプ、小規模灌漑法など農業全般に渡る機械化技術を指導している。コース期間は科目によって1~14日間まで様々であり、授業は実技に重点を置いている。ガレージ、運転教習場、試験農園、寄宿舎等の設備が整い、訓練用の農業機械も豊富だが、旧式化している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先には専任講師が8名いるが、ほとんどは農業が専門であり、他には機械工学の専門がひとりいるのみである。過去には複数の農業機械の講師がおり、農業機械の保守点検・修理コースが実施されていたが、現在は講師不在のために中断している。前任者は講師全員を対象としたトレーニング(例えば二輪、四輪トラクターのエンジン、トランスミッション、電気系統、油圧などの構造や点検、修理技術)を実施して、講師の知識と実技の向上に尽力してきたが、後任に対しても農業機械の点検修理分野での継続的な指導が期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 赴任当初は講師の技術レベルや授業内容、及び現地での機械化状況の把握に努める。その後に講師の技術向上、授業の質の向上、ニーズに合致した学習内容の提言などに貢献する。 ・講師に対して耕運機やトラクター等の農業機械の構造、維持管理、点検・修理技術を教える。 ・講義・実習を効果的に行うための教授法を同僚講師に紹介する(教材開発、マルチメディアの活用など)。 ・農業機械の普及状況や問題点を調べて、より実践的なコースになるように、研修内容の改善を図る。 ・訓練全般において様々なアイデアを提示して、人材育成に貢献する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 2輪4輪の各種トラクター10数台(クボタが多い)、コンバイン数台、小型刈取機、薬剤噴霧器、揚水ポンプ。整備実習室、スプリンクラー設備を備えた試験農園、トラクターの運転教習場、90人収容の寄宿舎。		
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚講師7名、うち1名のみ機械工学、他は農学専攻、40~50歳、日本での研修経験者が3名いる。指導対象者は学生(初級)農民(中級)教員(上級)と様々。	5) 業務使用言語 ● シンハラ語 ( ) ○ 英語 ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル: )

資格 条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	・学歴 専門学校卒 ・経験 実務経験 ・職業訓練指導員資格	業務関連分野 3年以上	性別理由: 学歴理由: 確固とした専門技術が必要とされるため 経験理由: 講師への指導には十分な経験が必要である 理由: 教授法の指導に必要な資格であるため 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況域 気候(熱帯モンスーン) 気温( 25~32℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 1 日

要請番号 ( SL 303 - 10 - D - 06 )	調査者名: 木田 克人
-------------------------------	-------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼン チン	職種 農業機械 (コード 1202 ) 指導科目 農業機械試験・規格化	● 新規 ○ 交替 代目	○ 2 年 ● 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Agricultural Machinery 指導科目(英) Examin/Normalisation of Agri Machinery			2	23 / 2
				3	/

プログラム番号・名 3030000000001 プロジェクト名  
 その他(中小企業・地域経済活性化)

1) 受入省庁名(日本語) 国立工業技術院  
 (受入機関名)(英語) National Institute of Industrial Technology (INTI)

2) 配属先名 (日本語) 国立工業技術院ロサリオセンター  
 (英語) National Institute of Industrial Technology-Rosario

3) 任地 サンタフェ州ロサリオ市  
 首都( ブエノスアイレス市 )から 北西 方向 300 Km  
 主要都市( ロサリオ市 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 当国政府は、農業機械部門(約600社)を輸出ポテンシャルの高い部門として位置で付け、同部門の競争力強化に向けた支援策を講じている。農業機械工場の約40%が存在するサンタフェ州にある配属先は、2008年4月から「7Mベンチ農業機械製造業者・生産性の再編成」と題し研究を続けており、2009年、農業機械製造業者のニーズを把握し、助言するグループを形成をした。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 農業機械に対する公的機関による統一的な検査・評価体制が未整備であり、農業機械の品質・性能に対する保証措置が取られていないため、SVには、7Mベンチ農業製造業者の現在の能力を判定し、農業機械の保証に関する検査方法及び評価基準の策定、適用に向けたアクションプランの作成を期待している。

2) 期待される具体的業務内容

- INTIと外部機関の能力の連結を図り、検査方法及び評価基準を策定し、農業機械保証システムを構築する
- 現行の国内・国際基準に沿い、ユーザーのニーズを満たすような保証システムを構築する
- 効率性、省エネ、環境保全の観点に合った、農業機械の製造を促進する
- 研修、技術移転、調査、製造工程における開発を通じて農業機器製造業者の競争力を高める

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 ノートブック型パソコン、カメラ

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 機械技師、60代、男性  
 電気機械技師、40代、男性  
 機械技師、食品専門家、30代、男性

5) 業務使用言語  
 ● スペイン語  
 ( )  
 ○ ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: A)  
 スペイン語 (レベル: C)

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 ・学歴 大卒 機械工学  
 ・農業機器製造実務経験  
 性別理由:  
 学歴理由: 指導対象者の技術・知識レベルに対応  
 経験理由: 指導対象者の技術・知識レベルに対応  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候( 温暖 ) 気温( 0 ~30℃位) 電気安定 不安定 なし  
 水道安定 不安定 なし  
 電話インターネット可 通話可 不良 なし



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
グループ 派遣	

記入日:平成 22 年 6 月 7 日

要請番号( SL 445 - 10 - D - 04 )

調査者名: 西井 洋介

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
トルコ	職種 農畜産物加工 (コード 1602 )	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 地場産品加工			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Agricultural & Livestock Products Processing			2	23 / 2	
指導科目(英) Homemade Products Processing	3	/				

プログラム番号・名 4450000000001 プロジェクト名  
 地域開発

1) 受入省庁名(日本語) 農業農村開発省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Rural Affairs (MARA)

2) 配属先名 (日本語) トラブゾン県農業局  
 (英語) Trabzon Provincial Directorate of Agriculture (PDA)

3) 任地 トラブゾン  
 首都( アンカラ )から 北東 方向 1,300 Km  
 主要都市( アンカラ )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 農業農村開発省はトルコにおける農業・農村開発の所管省庁だが、各県における技術者を通じた農民への実質的な支援業務は、同省傘下の各県農業局が担う(ただし技術的内容は農業農村開発省本局より直接指導)。トラブゾン県は17の郡事務所と県農業局の技術者で実務を行っており、約100名の技術者を擁する。「東部黒海地域営農改善計画(DOKAP-TARIM)」プロジェクトカウンターパートも同県農業局技術者である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 【グループ派遣】トルコ東部黒海地域は、茶やナッツ等を初めとした農業を中心とした低所得地域で、就業人口の6割が農業従事者である。同地域のモノカルチャーによる経済構造の脆弱性を改善し、地域格差を是正するため、JICAはトラブゾン県を中心に、同地域6県において「東部黒海地域営農改善計画(DOKAP-TARIM)」プロジェクトを実施、営農改善、生活改善に取り組んできた。同プロジェクトは2010年3月に終了、活動はトルコ側が引き継いでいるが、活動のうち一部、特に生産された野菜やフルーツ等の地場産品の加工品開発技術について、支援のニーズがあり、シニアボランティアの支援要請が出された。

2) 期待される具体的業務内容  
 同時期に派遣される他シニアボランティア(「野菜栽培」、「フルーツ栽培」、「生活改善」、「グループ調整員」)と連携し、トラブゾンおよび対象6県において、地場産品(野菜、フルーツ)を活用した加工技術の指導を行う。  
 ・地場産品の加工品開発ニーズの把握。  
 ・地場産品の加工品製造にかかる技術研修実施の支援。  
 ・地場産品の加工品の品質、市場性のモニター  
 ・マーケティングの観点から、地場産品の開発加工品へのアドバイス

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 特になし

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル DOKAP-TARIMプロジェクト担当者が5名配属。いずれも農業技術者であり、それぞれマーケティング、普及、組合活動、女性活動、営農改善を担当。現在全員男性。近日中に女性活動担当者が女性に交代予定。	5) 業務使用言語 ● トルコ語 ( ) ○ 英語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )
---	-------------------------------------	--

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 ・性別 女性 性別理由:主に女性を対象とした活動となるため  
 学歴理由:  
 ・経験 実務経験 10年以上 経験理由:指導に必要な経験のため  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車		P	

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域  
 気候(日本の東北付近と同様) 気温( -5から30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 7 日

要請番号( SL 166 - 10 - D - 01 )

調査者名: 武市直己

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パラオ	職種 家畜飼育 (コード 1402 ) 指導科目 家畜飼育	○新規 ●交替 6代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英) Animal Husbandry			1	23 / 2	年 月 から
				2	/	
		3	/			

プログラム番号・名 1660000000004 プロジェクト名 小規模産業振興

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 大統領府管轄 (受入機関名)(英語) Office of the President
	2)配属先名 (日本語) パラオコミュニティカレッジ (英語) Palau Community College
	3)任地 コロールおよびアルモノグイ 首都( マルキョク )から 西 方向 10 Km 主要都市( コロール )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.7 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 大統領に報告義務のある理事会により運営されている。人文、理学、ビジネス、技術教育からなる2年制の短期大学で、パラオ唯一の高等教育機関。学生数は約900人(社会人学生を含む)、教員数は約30名。地域社会が必要とする教育機会の提供を目指し、職業教育を中心とした教育と社会人教育を行っている。学部の年間予算は約100万ドル。

1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
農業コースではパラオにおける小規模産業の振興を目的として農業の普及を目指し、地道に学生を教育している。園芸と畜産関連の科目を教授しているが、畜産の人材が少ないことからJICAボランティアが講師として授業、実習を行っている。パラオの畜産に関しては、現在小規模な養鶏と養豚が定着してきている。

2)期待される具体的業務内容  
ボランティアはアシスタントを指導しながら、以下の業務をおこなう。  
・農業コースの学生に対して、家畜飼育概論、養鶏・養豚概論の講義および実習を行う。  
・講義計画、カリキュラムの作成、学生の評価を行う。  
・農業コースに併設されている鶏舎・豚舎を学生とともに管理しながら実習を行う。  
・農業コースの学生が運営している農業クラブへの参加およびアドバイスを行う。  
・定期的に業務報告を学部長に行う。

3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
鶏の孵化・育雛機、鶏舎、豚舎、小農場、耕耘機、芝刈り機

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 園芸科の講師フィリピン人男性30代大卒、土壌学講師アメリカ人30代大卒、アシスタント男性30代短大卒 農業コースの学生数は20名程度。	5)業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ ( )	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: A) □ (レベル: )
---	----------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由  
性別理由:  
学歴理由:  
経験理由: 助手を指導するため  
理由:  
理由:

活動用交通手段の必要性  
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車  
スクールバスで移動

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(海洋性熱帯気候) 気温( 25~30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
水道(☑安定 □不安定 □なし)  
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 5 月 18 日

要請番号( SL 251 - 10- D- 01 )	調査者名: 中野 敦彦
----------------------------	-------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パナマ	職種 家畜飼育 (コード 1402 )	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 2
	指導科目 受精卵移植			2	/
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英) Embryo Transplant			3	/
					年 月 から

プログラム番号・名 2510000000003 プロジェクト名 地方貧困削減のための地域開発モデル・プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧研究所 (受入機関名)(英語) Panamanian Institute of Agricultural Research (IDIAP)
	2) 配属先名 (日本語) 農牧研究所グアラカ試験場 (英語) IDIAP - Gualaca Experimental Station
	3) 任地 チリキ県グアラカ 首都( パナマ市 )から 西 方向 400 Km 主要都市( タビ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農牧研究所 (IDIAP) は本国における農牧試験研究活動を実施する国家機関であり、国内6か所の試験研究センターを有し、生産性向上の研究、技術の指導を通じて農牧畜生産者、特に小規模・中規模生産者の所得水準の向上を主要な目的とした業務、各種プロジェクトを実施している。JICAボランティアによる牛肉質改良の試験研究支援活動を継続して実施。グアラカ研究所の2010年度予算はUS \$ 280, 000。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同配属先では、現在活動中のSVが牛の飼育管理改善、畜産農家への人工授精技術の普及指導を通じ、牛肉質改良への支援を行っている。また同配属先では2008年に受精卵移植の試験が開始され、既に受精卵移植による産子が生産されており、SVはこれらの受精卵移植技術に係る協力にも携わっている。同配属先研究所内には新バイオテクノロジーラボ棟の建設がされ、機材設置後9月頃から運用開始予定であり、これによりバイオテクノロジー分野の調査・試験研究事業を強化する計画である。かかる状況において若手技術者のさらなるレベルアップが必要であり、専門知識・技術を持つSV派遣による継続支援の要請がされた。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 配属先研究所における受精卵移植、発情の同期化、試験管培養、卵分割、遺伝子分析など動物バイオテクノロジー関連の研究・試験活動実施に対する助言・支援。 2. 受精卵移植に係る一連の手順、技術、管理、評価に係る助言・支援。 3. 同研究における情報収集、結果分析にかかる助言・支援。 4. セミナー、講習会等の実施による技術者・研究者への技術の普及支援。また、近隣の生産者、畜産農家組合に対する普及支援活動の実施支援。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ラボ機材: 分析用天秤、ウォーターバス、クリーンベンチ、遠心分離機、CO2インキュベータ、胚凍結用機器、自動精子カウンター、ノイバウエル血球計算板、顕微鏡ほか。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート: 男性、30歳代、畜産科学修士ほか研究者4名、獣医1名、研究アシスタント2名、周辺畜産農家約100、学生インターン4名。	5) 業務使用言語 ● スペイン語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ スペイン語 (レベル: D)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	・学歴 大卒 ・経験 実務経験	畜産学 5年以上	性別理由: 学歴理由: 研究機関での指導支援のため 経験理由: 研究機関での指導支援のため 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯 ) 気温( 25-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
----------	--

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 6 日

要請番号( SL 045 - 10 - D - 08 )

調査者名: 落合 佐知子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
モンゴル	職種 獣医・衛生 (コード 1403 )	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 家畜用ワクチン生産			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene			2	23 / 2	
指導科目(英) Vaccine Production for Domestic Animals	3	/				

プログラム番号・名 0450000000006 プロジェクト名  
 農牧業経営・家畜感染症予防プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 食糧・農牧業・軽工業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Food, Agriculture and Light Industry
	2) 配属先名 (日本語) バイオコンビナート (英語) Biocombinat
	3) 任地 ウランバートル 首都( ウランバートル )から 北 方向 0 Km 主要都市( ウランバートル )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1923年に設立され、旧ソ連によって1973年まで運営された後、1990年まではハンガリー政府によって運営され、その後は国営企業となった。動物・家畜の様々な感染症を予防するためのワクチン開発・診断キットの開発などをしており(ヒトを含まず)、年間予算は約2億円。JICAボランティア受入経験はなく、他国援助もない。日本競馬協会では1年間の研修を受けたスタッフやロシアで研修経験がある者などがある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 放牧業が盛んなモンゴルでは、家畜の感染症等の予防が重要である。当機関はワクチンや診断キットの開発などを行う機関であり、開発したワクチンや診断キットはすべて国に買い上げられ、国から遊牧民に無料配布されるため、予算は独立採算制ではなく国の財政に頼っている。また機材はハンガリー時代のものが多く、制約の多い中で研究・開発を続けている。今回、最新技術の移転やワクチン製造技術の向上を目指してボランティア要請が挙げられた。		
	2) 期待される具体的業務内容 下記の製造・精製方法を指導する。 1. 細胞(特に細胞株)培養技術を用いた抗ウイルスワクチン製造方法 2. 細菌の不活性ワクチン精製(限外濾過処理)方法		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 Fermentors, Ultrafiltration, Deep freezer など多数。多くはハンガリー時代のもの。		
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパートとなるのは25歳~40歳までの常勤スタッフ(学士か修士)5名。2年から20年の経験をもつ。	5) 業務使用言語 ● モンゴル語 ( ) ○ 英語 ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・学歴 修士 業務関連分野 性別理由: 学歴理由: 指導に不可欠である 経験理由: 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(大陸性気候 ) 気温( -30~30℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 6 月 9 日

要請番号( SL 312 - 10 - D - 02 )

調査者名: 近藤 恵美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
チリ	職種 獣医・衛生 (コード 1403 ) 指導科目 ペンギン人工孵化	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英) Artificial Incubation			2	23 / 2
				3	/
年 月 から					

プログラム番号・名 3120000000005 プロジェクト名  
 その他(環境)

1) 受入省庁名(日本語) 都市・住宅省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Housing and Urbanism

2) 配属先名 (日本語) サンティアゴメトロポリタン動物園  
 (英語) National Zoological Metropolitan Park of Santiago

3) 任地 首都圏州 レコレタ区  
 首都( サンティアゴ )から 北 方向 5 Km  
 主要都市( サンティアゴ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 首都圏動物園として来園者が動物とのふれあいを楽しめるようにするという目的のほか、野生個体数が減少している動物の保護と、動物の生態系の調査及びその適切な管理などの研究を担っている。国営公園としてチリで1番広い総面積722haの公園と、市内にある13の公園の運営管理を含む年間の予算は、施設運営費として、115万米ドルと改築その他投資資金として38万米ドルである。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 同動物園が実施中の研究課題の下記の点に特化して技術指導を要するため、ボランティアの要請が挙げられた。  
 1. 主にフンボルトペンギンとチリフラメンコ、イワインコなど絶滅の危機に瀕する鳥類の人工孵化技術に関する指導。  
 2. 併せて、同鳥類の系統分類及びその飼育とケージでの扱い。  
 また、動物園全体として、大型哺乳類(陸生、水生)の飼育管理上、体重測定・血液採取・形態計測・身体検査などの改善に努めており、それらの指導もできればなおよい。

2) 期待される具体的業務内容  
 ・フンボルトペンギンとチリに生息する野生個体数が減少している鳥類の繁殖の手伝いをする。併せて人工孵化と飼育を指導する。  
 ・系統分類の指導をする。  
 ・保護活動のための現地調査への付き添いと、現場でのアドバイスを適宜する。  
 ・保護活動にかかる調査結果の報告書、雑誌掲載文書作成の際のアドバイスを要する。  
 ・大型哺乳類の調教にかかるアドバイスを要する。(ここからの2項目は、できればなおよい)  
 ・環境保護への配慮の園内教育への提案をする。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 繁殖・飼育の研究室。ペンギンの飼育場は、34m<sup>3</sup>、90cmの深さの人工池で水温は10-20度に保たれている。鉄筋コンクリートの上に沿岸から持ってきた砂・岩で作った人工の巣を作り、外から観察が可能。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 ・飼育場の責任者の男性(生物学選考)、女性(獣医師)2名。30歳~40歳代。  
 ・その他飼育係。30歳~40歳代。

5) 業務使用言語  
 ● スペイン語  
 ○ ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: B)  
 (レベル: )

条件(資格、免許、性別)及びその理由

資格条件  
 ・学歴 大卒 獣医学  
 ・経験 実務経験 5年以上  
 ・フンボルトペンギン人工孵化経験。

性別理由:  
 学歴理由:  
 経験理由: 特殊技術の指導をするため。  
 理由: 業務を遂行する上で必須。  
 理由:

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域  
 気候(地中海性気候 ) 気温( 5-8月(雨季)、9-4月(乾季) 0-28℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 5 日

要請番号( SL 333 - 10- D- 02 )

調査者名: 赤木 幸次

国名	職種/指導科目 (コード 1702 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウルグアイ	職種 植林	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目 林業			2	23 / 2
	職種(英) Afforestation 指導科目(英) Forestry			3	/

プログラム番号・名	プロジェクト名
-----------	---------

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 大統領府予算企画庁 (受入機関名)(英語) Government House, Budget and Planning Office
	2) 配属先名 (日本語) オイスカ・インターナショナル・ウルグアイ総局 (英語) OISCA INTERNATIONAL FILIAL URUGUAY
	3) 任地 モンテビデオ 首都( モンテビデオ )から 北西 方向 1 Km 主要都市( モンテビデオ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) オイスカ・ウルグアイは1993年にオイスカ・インターナショナルのウルグアイ支部として設立され、1995年にウルグアイ外務省より、非営利国際機関として認定された。主活動としては、①植林思想普及運動②健康食品開発(シイタケ、ケール、そば)③自閉症教育④EM(有用微生物郡利用)技術導入。年間予算は約900万円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 1987年にウルグアイ農牧水産省森林局がJICAの協力を得て、造林、木材利用計画調査を実施し、造林30カ年計画を作成した。本計画に関連し、同組織は将来ラプラタ流域が世界の紙パルプの生産基地の一つになる可能性があることを予測し、「草の根ラプラタ流域再開発の研究会」を発足させ、オイスカウルグアイが事務局を担当することとなった。同研究会は2009年第5回総会において、ラプラタ流域林業・林産業開発基本政策の作成を行うことを決めそのための予備調査が必要となったため、今回の要請が出された。		
	2) 期待される具体的業務内容 ラプラタ流域の森林、林産業調査を行い、ラプラタ流域林業・林産業開発調査計画に参考となる資料収集を行う 対象地域: ウルグアイ全土、パラグアイ全土、アルゼンチン4州 対象樹種: 天然林、人工林(ユーカリ、松、柳、その他) 対象木材産業: 製材、合板、ボード、集成材、紙、パルプ、燃料、その他 収集方法: ウルグアイ国内にある資料、インターネットを通じて収集、上記地域への出張による収集		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 PC、電話、FAX		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 代表者: 80代 男性 チームメンバー リーダー 男性、博士 スタッフ: 男性 ウルグアイ人林産専門家 3名	5) 業務使用言語 ● スペイン語 ( ) ○ . ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ スペイン語 (レベル: C)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学歴 修士</li> <li>経験 実務経験 15年以上</li> </ul>	性別理由: 学歴理由: 経験理由: スタッフが10年以上の経験者 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況 気候(温暖気候 ) 気温( 3℃から30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 5 月 21 日

要請番号( SL 251 - 10 - D - 02 )

調査者名: 中野 敦彦

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
パナマ	職種 林産加工 (コード 1703 )	○新規 ●交替 3 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	指導科目 森林資源活用			1 23 / 2	年 月 から
	職種(英) Wood Processing 指導科目(英) Utilization of Forest Resources			2 /	
			3 /		

プログラム番号・名 2510000000006 プロジェクト名  
 環境保全プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 環境庁 (受入機関名)(英語) National Environmental Agency
	2) 配属先名 (日本語) 持続的環境開発センター (英語) Environmental Sustainable Development Centre (CEDESAM)
	3) 任地 コクレ県リオアト市 首都( パナマ市 )から 西 方向 120 Km 主要都市( ペノメ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 環境庁はパナマ国内全域の環境汚染から環境保護に至るすべてを管理している。CEDESAMはこの中で森林保護・保全部門での調査・研究及びこれにかかる人材育成等を実施する機関である。約10年前にはJICA専門家による技術協力プロジェクトが実施され、林業、植林指導が行われた。2010年度の予算はUS\$ 263,500。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同配属先では現在活動中のSVにより、地方の森林組合に対する製材工場での生産コスト、品質の改善支援活動が実施されている。また森林資源の有効利用技術の確立という面から、住民グループに対する炭化技術の確立指導、キノコ栽培技術の研究にも取り組んでいる。製材工場については今年度在パナマ日本大使館の草の根無償資金協力の実施により機材等供与・整備されることもあり、配属先は、当該森林組合をひとつの指導モデルとしつつ、周辺他地域の零細森林農家に対しても材質、または木材の品質、また加工木材の品質改善指導を普及拡大していく計画を持っている。かかる状況から、専門知識を有すSVによる継続した技術支援が求められた。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 対象地区で植林されている木材の有効利用に関する調査・助言(主な品種はカリブマツ、チーク、アカシア、ユーカリ、カオバ・アフリカーノ等)。 2. 対象森林組合員及び零細森林農家に対する植栽樹木に係る森林施業技術の支援。 3. 同、木材、間伐材の利用、製材・加工技術における、品質改善、商業化促進に向けた技術的支援。 4. 木材の加工技術に係るマニュアルの作成指導。 5. 炭化技術、キノコ栽培等、森林資源の有効利用技術にかかる調査・継続支援。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、丸ノコ、乾燥炉、小型製材機KAKUBIKIKUN510GK、温湿度計、熱電対式温度計(1300度)、ダイヤルゲージ、ノギス、水準器、水分計、GPS、顕微鏡等		
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート・男性、50歳代、大卒(森林技師)森林組合員、林業従事者36名。その他、地方の林業従事者、住民グループ。	5) 業務使用言語 ● スペイン語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ スペイン語 (レベル: D)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	・学歴 大卒 林学	性別理由:	学歴理由: 技術者への指導のため。
		経験理由:	理由:
		理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(熱帯 ) 気温( 25-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期( ○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期( ○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 7 日

要請番号( SL 106 - 10- D - 08 )	調査者名: 豊嶋 道代
-----------------------------	-------------

国名	職種 / 指導科目 (コード 1803 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィジー	職種 養殖	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目 エビ養殖			2	23 / 2
	職種(英) Fish Culture			3	/
	指導科目(英) Strimp Aquaculture				年 月 日 から

プログラム番号・名 1060000000003	プロジェクト名 水産資源利活用
-------------------------	-----------------

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 第一次産業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Primary Industries
	2) 配属先名 (日本語) 水産局ガロア水産養殖センター (英語) Fisheries Department, Galoa Aquaculture Centre
	3) 任地 ガロア 首都( スバ )から 西 方向 54 Km 主要都市( スバ )までの交通手段及び所要時間( 車 )で約 1 時間
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 水産局は水産業の持続可能な発展のために、漁業インフラの整備、水産資源保護の推進、利害関係者の調整、漁業開発プログラムの実施やモニタリング等を行っている。国内産業を育てるためにエビの養殖に力を入れており、民間の養殖場に淡水エビ及び海水エビの種苗を供給することを目的として、1997年にガロア水産養殖センターが設立された。年間予算は100,000米ドル。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) フィジーでは、エビの国内消費の多くを輸入に頼っており、政府はエビ養殖を有望な国内産業と位置づけている(乱獲防止と食料の安定供給)。配属先は、国内のエビ養殖振興のために民間の養殖場に無料で種苗を供給しているが、初期餌料の確保と種苗の安定供給が課題となっている。初期餌料(アルテミア)は、海外から輸入しているが、コスト削減のため国内で調達可能な初期餌料の開発が求められている。また、種苗を安定的に供給するための技術的助言が必要とされていることから、ボランティアの要請に至った。なお、フィジーでは、種苗生産は年に数回行われている。		
	2) 期待される具体的な業務内容 1. 海水エビ及び淡水エビ種苗の安定的生産に必要な親エビ及び種苗飼育管理に関する技術的助言。 2. 種苗生産量増加のための施設の運営及び管理に関する技術的助言。 3. フィジー国内で調達可能な原材料による初期餌料開発に関する助言。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 サーモスタット、ヒーター、オートクレーブ、飼育水槽(20トン×6、8トン×5、5トン×6、2トン×3、1トン×5、0.5トン×4)、貯水タンク(20トン×2)、養殖池、藻類培養室		
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚4名(全員男性、30~40歳代、うち1名は19年の経験有り)	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル: )

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由: 学歴理由: 経験理由: 同僚と同等以上の経験が必要なため 理由: 理由:
	・経験 実務経験 15年以上	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

\* 研修等(H.障がい者施設研修、A.エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P.ボランティアプロジェクト、N.NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(熱帯海洋性) 気温( 16-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
-----	--



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 17 日

要請番号( SL 630 - 10 - D - 05 )

調査者名: 高橋正敏

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
モザン ビーク	職種 船舶機関 (コード 3601 )	●新規 ○交替 1 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 船舶機関保守管理			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Marine Engines			2	23 / 2	
指導科目(英) Marine Engines Maintenance	3	/				
プログラム番号・名 6300000000005 プロジェクト名		技術職業訓練支援				

1) 受入省庁名(日本語) 水産省  
(受入機関名)(英語) Ministry of Fishery

2) 配属先名 (日本語) マトーラ水産学校  
(英語) Matola Fisheries School

3) 任地 マプト州マトーラ市  
首都( マプト )から 西 方向 16 Km  
主要都市( マプト )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
漁業従事者を育成する公立水産学校。初等教育修了者向けの基礎課程3年と前期中等教育修了者向けの中級課程2年の二つの課程があり、卒業者には、それぞれ「前期中等教育終了・助手」及び「後期中等教育終了・技師」の資格が与えられる。基礎課程では「漁業コース」「機関士コース」、中級課程では「漁具・漁法コース」「小型船舶コース」「漁業会社経営コース」がある。生徒数約200名、教員数20名。学生寮あり。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
2006年12月より2009年3月まで海外漁業協力財団のマトーラ水産学校人材支援育成プロジェクトで専門家2名が配属され機材の供与、船舶の航海運用技術およびメンテナンスを指導していた。プロジェクト終了後、機材の管理、有効活用に引き続き支援を必要としている。また実習船が2隻のほか船外機等もあるが完全にメンテナンスが出来る技術者がいないため、保守の仕方を指導して欲しいとの要請が出された。

2) 期待される具体的業務内容  
小型船舶のメンテナンス技術の指導が求められる。  
(1) 内燃機関及び船外機の分解組み立て及び試運転に関する技術的助言  
(2) 運航中の船用機器のメンテナンス技術に関する指導

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
実習船2隻、GPS、レーダー、魚群探知機、無線機、網など

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
教員: 男性49歳、29歳、大卒  
生徒: 13歳~25歳

5) 業務使用言語  
● ポルトガル語  
( )  
○ ( )

6) 選考指定言語  
☑ 英語 (レベル: D)  
□ スペイン語 (レベル: C)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・性別 男性 性別理由: 配属先からの希望  
学歴理由:  
・経験 実務経験 5年以上 経験理由: 実践的な技術が必要なため  
理由: 配属先の自動車を運転することがあるため  
理由:  
・普通自動車免許

活動用交通手段の必要性

●有 ○無 ●車輦 ○単車 ○自転車

配属先の車両を運転することがあるため

研修等 形態 現職教員特別参加制度

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(熱帯サバナ気候) 気温( 15-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
水道(□安定 ☑不安定 □なし)  
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 3 日

要請番号( SL 106 - 10- D- 13 )

調査者名: 佐藤幸雄、豊嶋道代

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィジー	職種 水産物加工 (コード 1604 )	○新規 ●交替 3代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目 水産物加工			2	23 / 2
	職種(英) Aquatic Products Processing			3	/
	指導科目(英) Post Harvest processing				年 月 日 から

プログラム番号・名 \_\_\_\_\_ プロジェクト名 \_\_\_\_\_  
 地方・離島生計向上 \_\_\_\_\_

1) 受入省庁名(日本語) 教育省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Education

2) 配属先名 (日本語) 南太平洋大学 島嶼海洋学部 海洋学科  
 (英語) School of Island and oceans, The University of the South Pacific

3) 任地 スパ  
 首都( スパ )から 北 方向 0 Km  
 主要都市( スパ中心 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 南太平洋大学は1969年に南太平洋地域内12カ国によって設立された、域内最高水準の教育を行う総合大学であり、本部はフィジーにある。海洋学科では水産加工、養殖、資源管理、海洋生物等の水及び海洋全般に関わる教育、研究が行われている。施設は日本の水産無償により建設された。同学部にはこれまで沿岸資源管理専門家と養殖のSVが派遣されている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 1996年度無償資金協力「南太平洋大学海洋研究施設整備計画」により、海洋研究センター、ワークショップ等の施設建設、海洋調査機器、水産加工機材、養殖関連設備等の整備を行った。これにより研究及び教育事情が改善され、同学部の域内位置付けは一層高まった。一方で、実施体制は講師陣を中心に十分なものとはいえず、関連設備の有効活用はもとより、水産加工分野の教育・研究活動の活性化も困難な状況にある。特に水産食品の鮮度保持管理と安全性確保の問題については、緊急な課題となっている。よって、SVの前任者を引継ぎ、同学部の水産加工研究・教育機能の更なる強化のための指導協力を得たいとして要請が出されたものである。

2) 期待される具体的業務内容  
 1. フィジー国の漁民に適応し、付加価値(市場価値、保存面で)を高めることができるような、水産物加工の開発と普及を行う。  
 2. 水産局と連携し、漁民に対する水産物加工の技術研修会等を企画、開催する。  
 3. 水産科の学生に対して、水産加工の基礎や概念を、実習を含めて指導する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 燻製品製造装置、乾燥機、ヒスタミン計、鮮度計、パソコン、冷蔵庫

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 スタッフは日常的に講義、実習等を行っており、一定の知識、技術力は有しているが、水産加工技術および食品化学分析技術に関しては乏しい。

5) 業務使用言語  
 ● 英語  
 ( )  
 ○ ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: B)  
 (レベル: )

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:  
 学歴理由: 水産学系卒。大学での指導が必要なため  
 経験理由: 実践的技術が必要なため  
 理由:  
 理由:

・学歴 大卒  
 ・経験 実務経験 5年以上

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(熱帯海洋性気候) 気温( 16~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

